

令和8年度第2回臨床腫瘍セミナー

がんゲノム医療でなにができるのか？ ～遺伝子パネル検査の上手な使い方～

がんゲノム医療において、「遺伝子パネル検査で何が分かるのか」「どの患者さんに必要なのか」「結果をどのように治療へ結びつけるのか」については、医療従事者の間でも十分に理解されているとは言えません。また、検査実施のタイミング、エビデンスや治療選択肢の限界、エキスパートパネルの運用、ドラッグアクセス、地域格差など、多くの課題も存在しています。

本セミナーでは、がんゲノム医療の基本的な考え方から、実際の臨床現場における遺伝子パネル検査の活用法までを解説します。特に、「どの患者さんに検査を勧めるべきか」「検査結果をどのように解釈するか」「治療選択や臨床試験につなげるにはどうすればよいか」といった内容も議論したいと思います。

聖マリアンナ医科大学 臨床腫瘍学講座
主任教授

講師 砂川 優 先生
(すなかわ ゆう)

2003年 日本医科大学医学部卒業
2003年 埼玉協同病院 内科研修医
2006年 埼玉医科大学病院臨床腫瘍科 助手
2007年 埼玉医科大学国際医療センター腫瘍内科 助教
2012年 昭和大学横浜市北部病院内科 助教
2013年 南カリフォルニア大学ノリス包括がんセンターに留学、
バイオマーカー研究
2015年 昭和大学横浜市北部病院内科（腫瘍内科） 助教
2016年 昭和大学横浜市北部病院内科（腫瘍内科） 講師
2017年 聖マリアンナ医科大学臨床腫瘍学講座 准教授
2021年 聖マリアンナ医科大学臨床腫瘍学講座 主任教授



日時：令和8年8月18日(火)18時～19時

場所：福島県立医科大学11号館第2臨床講義室

対面/WEB ハイブリッド開催

司会：佐治重衡先生（腫瘍内科学講座）

WEB参加を希望される方は、下記アドレスまたは右のQRコードからご登録ください。

<https://zoom.us/meeting/register/LCY3Su6sTVGqz34UySVsNg>



◆がん治療に携わる医師、メディカルスタッフ、患者様及び一般の皆様を対象に公開セミナーとして開催されます。

◆本セミナーは、『東北広域次世代がんプロ養成プラン』事業の一環となっています。

◆本セミナーは、大学院授業要項に基づく「共通必修科目（8）」に該当します。大学院生は履修票をご持参下さい。

【お問い合わせ】 福島県立医科大学 教育研修支援課 TEL：024-547-1095 E-mail：ganpro@fmu.ac.jp

【次回予定】 令和8年10月15日(木) 18時～19時 福島県立医科大学5号館第7講義室
(講師) 都立駒込病院 臨床研究・治験センター 部長 加藤晃史先生